

浪花ふし
赤垣源藏

ふし「心得ましたと、市助が、尻引からげ雪の途、馴た素足で駆け出す
仙臺侯の御門前に来て見ると、流石に廣ろい門前も、錐を立つる場
所もなく、早や見物の人の山。無理無体に市助は、主人を思ふ一心
に、群がる人の袖の下、股を潜つて真先に、やつとまかせと這ひ出
して、見て居るうちに御門が開き二人宛揃うて出る淺野の浪士、同
じ扮装の勇ましさ。四十餘人の其中で、一際目立赤垣が、鎧を小脇
に搔こんで、出たを見付けた市助は夢中で駆け寄りベツタリ座り。



- 旭 精化と毒けし
- 丹 きつけはらいたみよし
- テリアカ くだりはらはら一切よし
- アンチピリン散 四季引風一切よし
- はら薬

本 鋪 江州甲賀郡大原
松 島 一 天 堂